

トルコの PV 市場に内外の投資企業が期待; 一方で解決すべき課題も¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット
新エネルギーグループ

トルコの太陽光発電 (PV) 市場は近い将来、急拡大が予想されており、国内の開発会社は 2016 年から毎年少なくとも 500MW の新規 PV 容量の導入を見込んでいる。同国のソーラー市場は新たなホットスポットとして内外の投資企業から大きな関心と期待を集めているが、本格的な導入拡大のためには解決すべき課題もある。

すでにドイツや中国から複数の海外企業がトルコ PV 市場への参入を果たしているが、最近では、中国の PV 製造大手 ET Solar 社が 4 月初め、トルコの PV 開発会社 MEL Solar Energy 社と戦略的パートナーシップを結び、ドイツの子会社である ET Solution 社を通して、トルコで PV プラントの EPC 事業を手がけることを明らかにした。また、やはり中国の CSUN 社は 4 月半ば、トルコの EPC PV-Systems 社と 15MW の地上置き PV システムの建設契約を結んだ²。

トルコで再生可能エネルギー発電事業を行うには、入札によってライセンスを取得しなければならない。落札した企業は、特定の場所で設備の建設・運営を行うためのライセンスをエネルギー規制局 (EMRA) から与えられる。昨年 6 月にトルコで初めて実施された 1MW 超の大規模 PV に対する入札では、申請したプロジェクトの合計発電容量が 600MW の規定上限をはるかに上回る 9GW にも達した。続いて政府は今年 4 月半ば、新たなソーラー入札手続きを開始した。東アナトリアのエラズ県およびエルズムズ県を対象地域とし、やはり 600MW の発電容量に対する入札を 5 月に実施する。すでに事業化調査 (FS) の段階を終了し、現段階で約 500 社が申請を済ませているという。最終的に 258 件のプロジェクトが選定される³。

トルコは 2023 年までに国の電力需要の 23% を再生可能エネルギーで賄うことを目指し、同年までに 3GW の PV 容量を導入するという目標を掲げている。この目標達成に向け、政府は 2015 年末までに操業を開始する PV プロジェクトに対する固定価格買取 (FIT) スキーム⁴をはじめ、各種のインセンティブを導入している。さらに、昨年 10 月以来、政府は発電

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業 (海外省エネ等動向調査)」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

² PV モジュールはイスタンブールと中国の工場から供給される。CSUN はイスタンブール工場のモジュール生産能力を今後数ヶ月間に 200-300MW に拡張する計画である。

³ <http://www.invest.gov.tr/ja-JP/infocenter/news/Pages/150414-turkey-to-launch-solar-power-tender.aspx>

⁴ 2010 年の再生可能エネルギー法で再生可能エネルギー源別に FIT が引上げられた。2005 年 5 月 18 日以降に操業を開始、もしくは 2015 年 12 月 31 日以前に操業開始する設備が対象となり、タリフは 10 年間適

容量が 1MW 以下の PV 設備（以前は 500 KWp 以下が対象）に対する認可手続きを簡略化し、FIT を受けるための要件も同様に拡大した。

在来エネルギー価格の上昇、増大するエネルギー需要、FIT スキームの導入、豊富な PV ポテンシャルなど、投資企業を引き付ける条件は揃っている。イスタンブールで最近開催された第 7 回国際ソーラーエネルギー・テクノロジー・エキスポ（Solarex）⁵は、国内外から 250 以上の出展者と延べ 1 万人近くのビジターを集め、トルコの PV 投資に対する関心の高さをうかがわせた。

一方で、ライセンスを取得したプロジェクトがなかなか進展しないという問題も抱えている。前述の Solarex では、トルコのソーラー部門に特有の様々な問題が指摘された。具体的には、(1) 官僚主義による手続きの煩雑さと期間の長さ、(2) 国内で生産されたソーラーパネルや関連機器を用いるプロジェクトを優遇する政策により、外国企業との軋轢が発生、(3) 現地当局者との接続の必要性、(4) 送電インフラの不備、(5) 農地でのソーラーファーム建設が禁止されていることなど、各種規制の存在、(6) 地上置き PV システムの土地確保が困難、(7) 資金調達の困難、(8) 専門知識の不足や品質管理の問題、などが挙げられている。

トルコの PV 設備容量は現在、12~15MW ほどにとどまっており、計画だけが先行して実態がついていかないという状況が見られる。今後は、一層の規制緩和や市場の自由化政策を進めることにより、大規模プロジェクトを確実に実現させていくことが課題となる。

お問い合わせ : report@tky. ieej. or. jp

用される。買取価格は再生可能エネルギー源毎に設定され、従前よりも増額された。太陽光発電（PV）の FIT レートは 13.3 セント/kWh。

⁵ Solarex URL: <http://eng.solarexistanbul.com/>